

(左・右)上肢2泊3日の手術を受けられる患者さまへ

担当医師:

担当看護師:

	入院～	手術前日(/)	手術日(/)	
			手術前	手術後
安静度	特に制限はありません。		担当の看護師と手術室へ向かいます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上安静となりますので起き上がったりせず安静にしてください。 ・床ずれを予防するために身体の体の向きを変えるお手伝いをします。 ・手術した方の手の腫れを抑えるために心臓より腕を高く保持します。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・手術の前日にシャワーに入り身体を清潔にします。 ・眠前に歯磨きを行います。 			
排泄			9時からの手術の方は8:30にはトイレ済ませて下さい。	手術室よりお小水の管が入ってきます。
食事	特に制限はありません。	手術前日の夕食まで召し上がれます。それ以降は麻酔科の先生の指示に従ってください。病院から出されるもの以外の飲食は禁止となります。(あめ、ガムも禁止、うがいは可能です。)		
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・普段使用している薬は全て看護師にお渡しください。 ・薬は一度お預かりし、薬剤師と担当医が確認させていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・眠前に下剤を1錠内服します。 ・希望がある方には眠剤をお渡しします。 	起床時に麻酔科医から指定された薬のみを少量の水で内服します。	<ul style="list-style-type: none"> ・水分補給、抗生剤の点滴をします。 ・疼痛や吐き気に応じて薬を使用できるため看護師に伝えて下さい。
検査処置	必要時、採血、レントゲンを行います。	手術部位にマーキングをします。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、排便がない場合は浣腸をします。 ・血栓予防のストッキングを両足に履きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素マスクは指示がある時間まで続けます。(場合によっては翌朝まで続けることがあります。) ・血栓予防のポンプを翌朝まで装着します。(年齢や手術内容によっては装着しない場合もあります。)
リハビリ				
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟案内、入院のオリエンテーションを行います。 ・薬剤師より内服薬についての説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・術前のオリエンテーションを実施します。 ・麻酔科医より麻酔について説明をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・義歯、アクセサリ、時計、メガネ(コンタクト)、化粧、ヘアピン、かつら、マニキュア、湿布等は外してください。 ・付き添いのご家族がいる場合はポケットベルをお渡しします。ポケットベルをもち院内で待機してください。 ・手術中、貴重品の管理はご家族にお願いします。ご家族が来院出来ない場合のみ、看護師が管理します。 ・手術中、貴重品やセーフティBOXの鍵の管理はご家族で管理をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後、医師よりご家族に手術内容の説明があります。 ・術後は状況に応じてナースステーションに近い部屋に移動します。その際、帰室した部屋が男女混合になる可能性がありますのでご了承ください。 ・手術した部位のしびれや動きや感覚を確認します。 ・痛みや苦痛があった場合などはすぐにNsコールでお知らせください。 ・手術後は、ご家族より貴重品の鍵を受け取ってください。
物品	T字帯 1枚 ・レジ袋 2枚 (名前を記入してください。)			
看護師サイン				

退院日(/)	
安静度	三角布をつけて歩行可能となります。 初回は看護師が付き添い歩行を行います。
清潔	身体拭きをして術衣からパジャマへ着替えをします。
排泄	手術翌日にお小水の管を抜きます。
食事	朝食より食事が再開します。
くすり	・鎮痛薬、抗生剤の内服が開始されます。 ・手術によっては点滴になることがあります。 ・お預かりして持参薬がある場合には返却をします。
検査 処置	・手術の状況によって採血を行います。 ・朝医師が傷の確認を行います。 (場合によっては消毒せずに退院となることがあります。)
リハビリ	退院後リハビリが必要な方は担当医から説明があります。
説明 指導	・術後患肢の安静については担当医より説明があります。医師の指示があるまでは手術をした方の手で思い荷物を持つのは避けて下さい。 ・手術した腕を下げてしまうとむくみの原因となりますので三角巾等を使用して腕を挙げて生活してください。 ・シャワー浴は可能ですが、腕をシーネやギプスで固定している場合はビニールで保護し濡れないようにして下さい。 固定がない場合は傷口の付近は強くこすらず優しく洗うようにしましょう。入浴は医師の許可があるまで控えて下さい。 ・傷口が赤く腫れ上がったり、熱を持ち始めたり、発熱した時はすぐに外来を受診して下さい。 ・傷口を保護しているテープは自分で剥がさないようにし、もし剥がれてしまった場合は流水と薬用石鹸で軽く洗い流し、清潔なガーゼで覆い外来を受診して下さい。 ・退院時は看護師より、次回外来についての説明をします。
看護師 サイン	